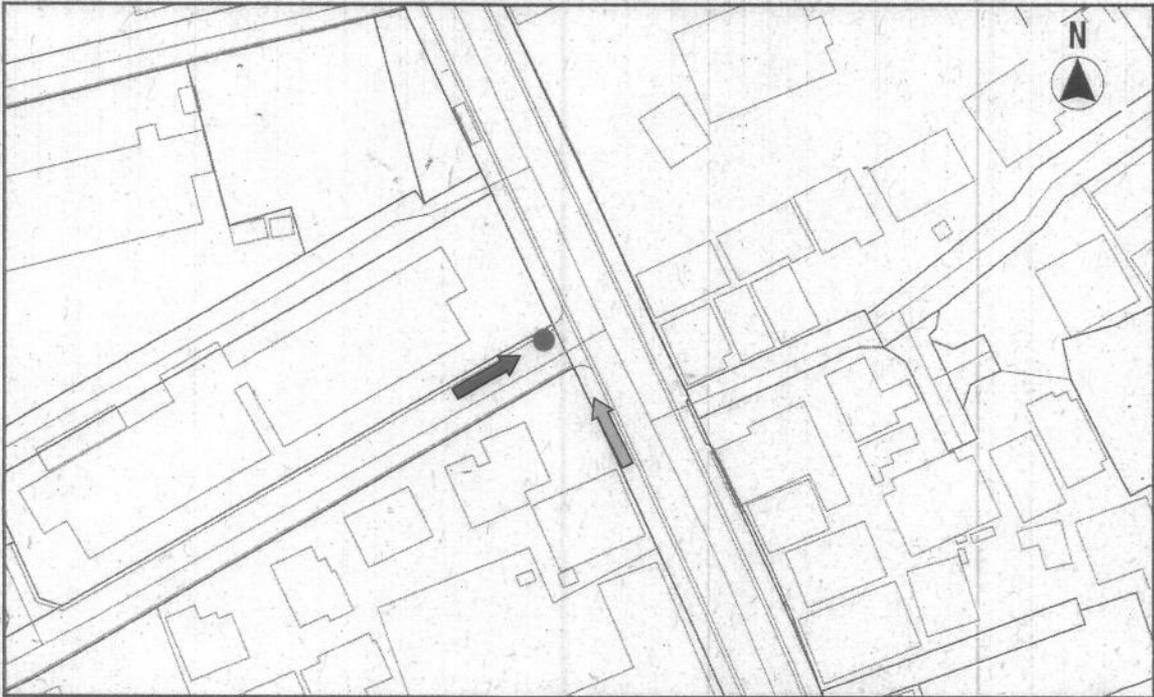


要回覧

歩道用カーブミラー（1面鏡）の設置について

下記の交差点において、歩道用カーブミラーの設置を検討しております。

歩道用カーブミラーは自動車が見通しが良くなる反面、「死角に歩行者や自転車が入ると鏡に映らない」「車の通過速度が上がる」「車が交差点で一時停止をしなくなる」等のデメリットがあります。



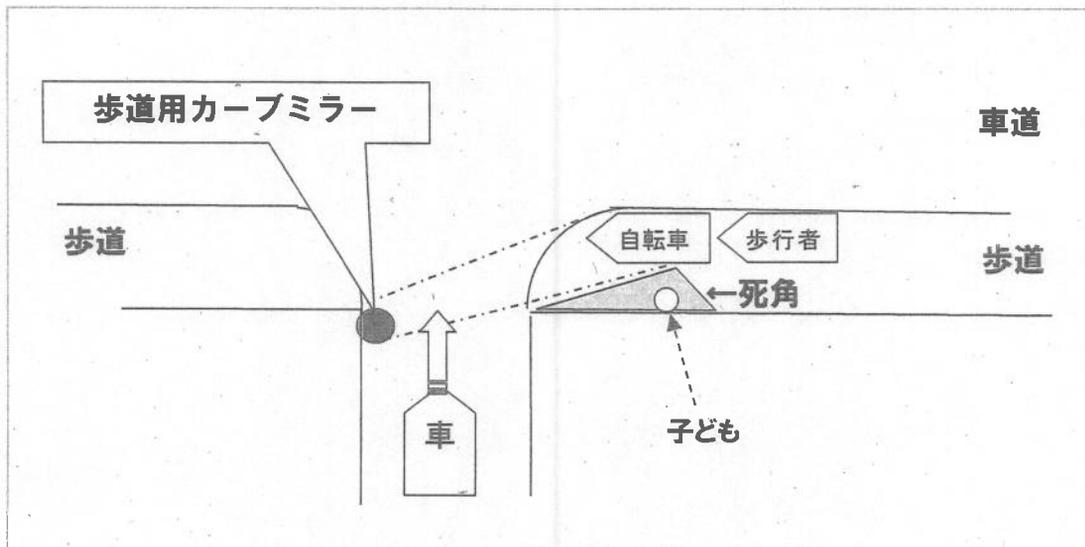
歩道用カーブミラーの設置の是非について、皆様でご検討いただきますようお願いいたします。（別添資料「歩道用カーブミラー設置におけるメリット・デメリット」もご参照下さい。 【周辺地図：金森2丁目23-2 付近】（イメージ図）



※ ↑ から来る車が ← から来る歩行者や自転車を確認するための補助施設です。

要回覧

歩道用カーブミラー設置におけるメリット・デメリット



メリット

- 車の運転者がカーブを曲がる前にカーブの先の状況が把握でき、衝突する可能性のある物体に気づくのが遅れる「発見の遅れ」を解消できます。
- 歩道用カーブミラーの支柱がオレンジ色で目立つこと、かつ支柱に「注意」のシールも貼付されるため、注意喚起を促す効果が得られます。

デメリット

- 歩道用カーブミラーは車が歩行者や自転車を確認するための施設であり、歩行者や自転車が映りこまない死角があります。
- 歩道用カーブミラーに映っていないと、車が通過速度を緩めずに交差点に進入してしまい、死角から出てくる自転車や歩行者の発見が遅れることがあります。
- 鏡に映して状況を確認するため、左右が逆に映り誤認をまねきやすく、また、遠近感をつかめないという特性があります。